

地域協議会による福祉農園、貸し農園、特産物(ガマズミ、ナツハゼ)の生産・加工等により荒廃農地を再生・利用

はなまきし
〔岩手県花巻市〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
農福連携	鳥獣害対策	地域・集落の共同活動	その他

1. 地域農業の状況

- 花巻市高松第三行政区は、近年の少子高齢化の進行が進み、コミュニティ機能も脆弱化している。
また、高齢化による農業の担い手不足や公共交通機関がないがために高齢者の通院や買い物が出来ない等の課題に直面した。
- 人口減少と高齢化が進行し「このままでは限界集落になってしまう」という危機感から、農業体験を通じた高齢者、障がい者、子どもの交流を目的とした「福祉農園」を設置。福祉農園を中心に、地域ぐるみで特産物の生産、加工、販売や景観形成活動、高齢者の生活支援などに取り組み、移住者の定着にもつながっている。



岩手県
花巻市



ガマズミ



収穫果実はゼリーに加工・販売

2. 地区概要

取組主体	高松第三行政区ふるさと地域協議会	地区名	花巻市高松第三行政区
再生面積	60a	取組年次	平成20年～
作付作物	ガマズミ、ナツハゼ	販路	ふるさと宅配便等

3. 取組内容及び効果

福祉農園、貸し農園、特産物(ガマズミ、ナツハゼ)の生産・加工等により荒廃農地を再生・利用

- 平成21年から、遊休農地を活用した貸し農園の設置、運営。貸し農園、福祉農園の収穫・交流会には多くの参加者が訪れ、令和2年の関係人口は1,800人となっている。「ふるさと宅配便」は毎年100個の販売実績があり、集落内外の関係維持にも貢献している。
- 平成23年から、地域の高齢者等の福祉や交流を目的に遊休農地を活用した福祉農園を設置。地域資源として里山に自生している樹木(ガマズミ、ナツハゼ)を植栽。収穫した果実はゼリーに加工、販売。
- 平成26年から、一人暮らしの高齢者などへ福祉農園の食材を活用した配食サービスを実施。通院や買い物などの足の確保の訴えから、自動車による買い物等への付き添い支援を社会実験(平成28年～平成29年)。平成30年以降は花巻市事業により継続。付き添い支援や配食サービスが高齢者の見守り活動としても機能。
- 今後は、関係人口の更なる創出と外部人材による農作業(学生の草刈り援農隊)の体制を整備。福祉農園を活用した「青空デイサービス」の実施。現在進行中の農地整備事業と併せた営農計画の策定と福祉施設への食材供給体制の構築したい。



ふるさと宅配便



配食サービス

活用した支援策	H20年 農山漁村地域力発掘支援モデル事業(国)
	H26年 農山漁村振興交付金(国)